

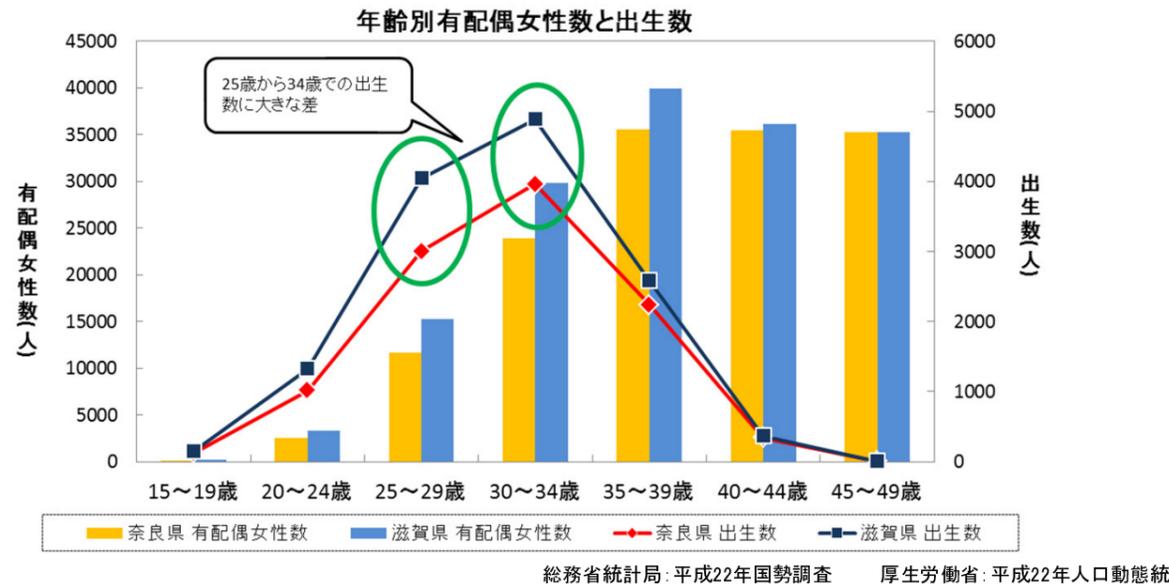
6 少子化の地域差① 〈奈良県と滋賀県の比較〉

〈基礎データ〉

	人口 (H25.10.1)	合計特殊出生率(H25年) (順位・降順)	有配偶率(H22年)		有配偶出生率(H22年)	出生数 (H22年)
			25～39歳男性	25～39歳女性	25～39歳女性	
滋賀県	142万人	1.53(全国15位・近畿1位)	51.3%(全国5位)	62.2%(全国2位)	135.5(全国18位)	13,363人
奈良県	140万人	1.31(全国43位・近畿5位)	48.6%(全国24位)	54.9%(全国40位)	129.4(全国30位)	10,693人

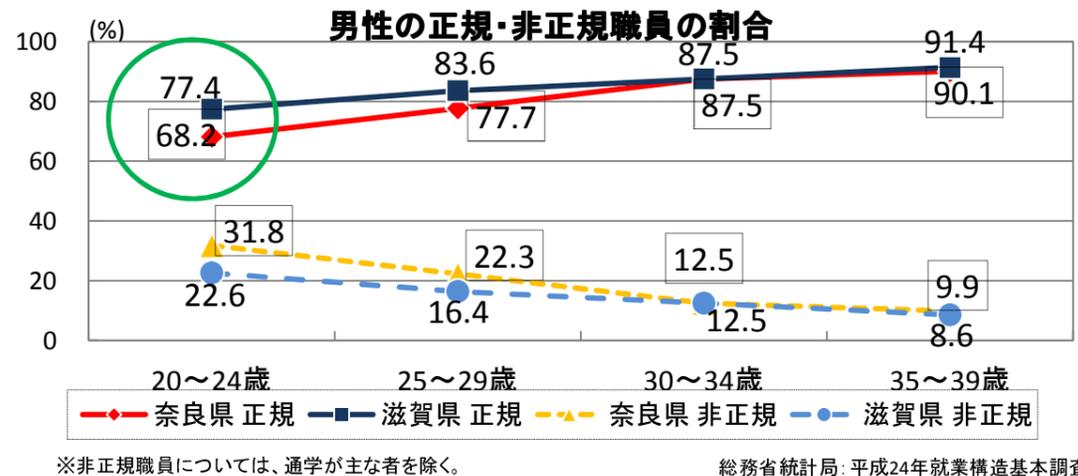
(1) 年齢階層別有配偶女性数と出生数

- 滋賀県と奈良県の女性人口はほぼ同じだが、出生数には大きな差がある。
- ① 有配偶女性の数が、滋賀県の方が多く、特に30～34歳で差が大きい。
- ② 女性の年齢別出生数はどの年代でも滋賀県の方が多く、特に25～34歳の出生数に大きな差がある。



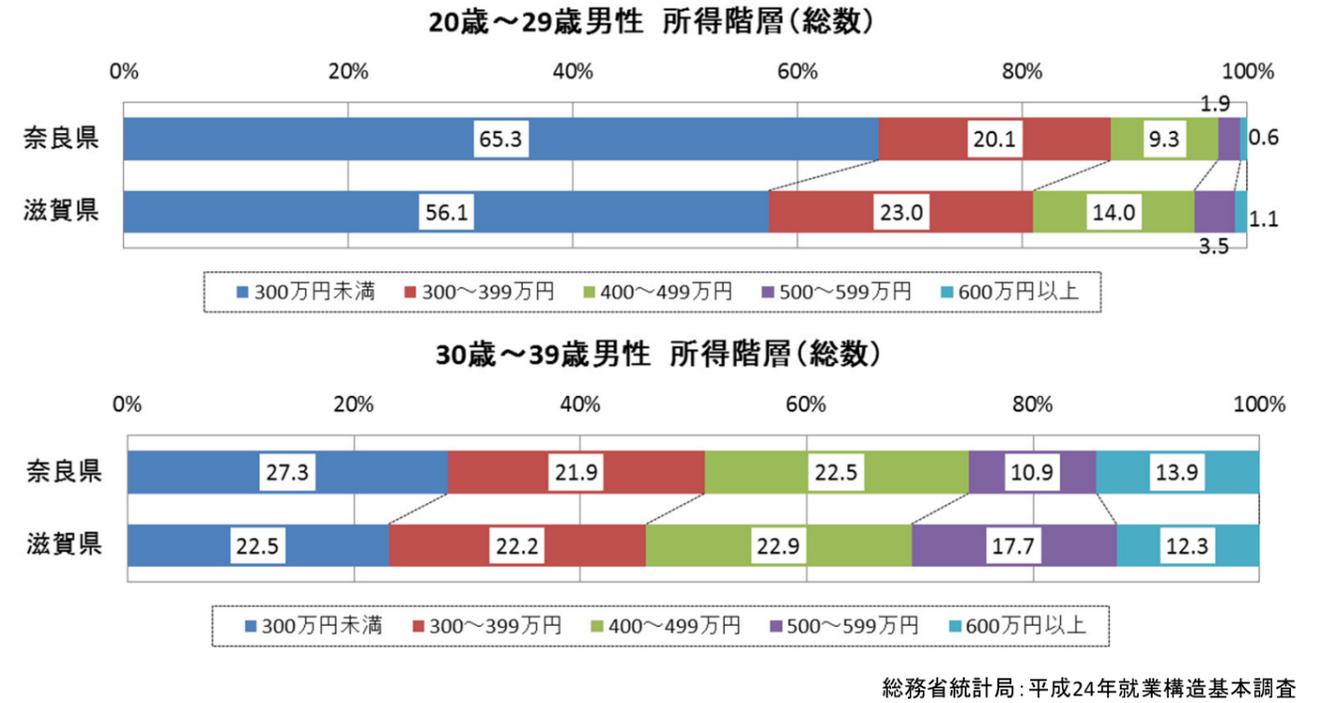
(2) 年齢階層別男性の正規・非正規職員の割合

- 滋賀県の方が正規職員の割合が高く、非正規職員(通学が主な者を除く。)の割合が低い。
- 正規職員の割合の差が、特に20～24歳において、顕著となっている。



(3) 男性の所得階層の割合

- 男性の所得を見ると、20～29歳では、300万円未満の割合は奈良県が滋賀県より高く、300万円以上になると滋賀県が高い。30～39歳でも、同様であるが、600万円以上の割合は奈良県の方が高い。



(4) 奈良県と滋賀県の比較まとめ

合計特殊出生率、有配偶率ともに高い滋賀県の特徴

奈良県と比較して滋賀県では、

- 1 25～29歳の有配偶女性の数が多い。
- 2 有配偶女性の出生率が高い。
- 3 男性就業者の正規職員率が高い。
- 4 20～29歳の男性の収入が300万円以下の割合が低い。